

千里の道も一歩から

令和8年度

とよの東学園

進路通信 No.9

7月14日

発行者：山部

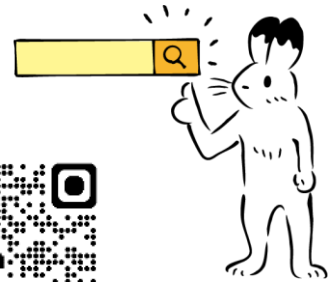


アドミッションポリシーが発表されました。

先日、「令和8年度 大阪府公立高等学校等アドミッション ポリシー（求める生徒像）並びに学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」が大阪府のHPにアップされました。公立高校すべてのアドミッションポリシーを進路通信で掲載できません。HPには、すべての公立高校が載っていますので、右下のQRコードを読み取って、参考にしてください。変更があった部分は網掛けがされています。

(22) 芸術文化科

学校名	アドミッションポリシー	学力検査 問題の種類		倍率のタイプ
		国語	数学	
東住吉	本校は「たくましい自主創造の精神」を校訓とし、「二兎を狙い（1年生）、二兎を追い（2年生）、二兎を獲る（3年生）大阪で一番元気のある学校」をめざし、生徒は進路の実現と自主活動への取組みに、それぞれ100%の力を出し切ることを目標にしています。 普通科にあっては次の1)から4)について、芸術文化科にあっては1)から5)について、横断的な資質がある生徒を求めています。			
	1) 第1希望の進路を一段高いレベルで実現できる確かな学力の養成の基礎となる「学習意欲」「学習習慣」と「基礎基本を活用できる学力」を有する生徒 2) 様々な自主活動を体験するなかで、授業にはない「自主活動における学びの魅力」を発見し、努力の成果を発信できる生徒 3) グローバルな視点を持ち、高い志を抱いて社会に貢献しようとする資質と強い意志のある生徒 4) 「共生推進教室」について理解し、ともに学び、ともに生きることを大切にできる生徒 5) 芸術文化科の学びのなかで新たな自分を発見し、大阪ひいては日本の文化の発展に寄与できる資質のある生徒 (芸術文化科志望者)	特別	B	B



(23) 文理学科

学校名	アドミッションポリシー	学力検査 問題の種類	倍率のタイプ		
			国語	数学	英語
北野	本校は、アカデミックで自由闊達な校風のもと、文武両道の実践を大切にしてきました。そのなかで、知・徳・体のバランスがとれ、豊かな人間性と心身のたくましさを備えた生徒を育むことをめざしています。これは創立150年にわたる歴史のなかで培われ、これまで数多くの優れた人材を輩出してきた本校の教育理念です。この理念を理解し、高い志とチャレンジ精神によって自らの進路を切り開き、高邁な理想をもって社会に貢献する生徒を望みます。 1) 授業を中心としたあらゆる教育活動に真摯に取り組み、互いに切磋琢磨していける生徒 2) グローバル化が急速に進むなかで、社会の課題に関心を持ち、国際社会のリーダーとしてふさわしい次のような能力や態度を身につける意欲のある生徒 ・多角的な視点を持ち、物事を洞察する力 ・主体的に課題を解決しようとする態度 ・コミュニケーション能力 ・自己を確立するとともに、互いの違いを認め合い尊重しようとする態度 3) 自然科学及び人文・社会科学における基本的な知識や技能について、系統的に習得し、理解を深め、また、論理的思考力を鍛えることによって、科学的に考察し表現する能力や態度を身につける意欲のある生徒	一般	C	C	I
大手前	本校は、国際社会で活躍できるグローバル・リーダーの育成をめざし、「強き信念（まこと）・高き理想（のぞみ）」の理念のもと、自然科学、社会科学、人文科学の各領域において、先進的な教育に取り組んでいます。今後も更なる飛躍を図り、地球規模の困難でかつ複雑な課題に挑戦する人物を育成し、国際社会の発展に大きく貢献します。 1) 旺盛な探究心を持ち、数学的リテラシー、読解力、英語運用能力、科学的リテラシー等を高めることもより、すべての教育活動に積極的に取り組みたい生徒 2) 身につけた教養や高めた能力を社会のために生かし、よりよい社会を作っていくとする高い社会貢献意識をもつ生徒 3) 「地球の構成員」として、互いの個性を認め、異なる文化や歴史を尊重できる豊かな感性や、たくましく生きるための力を身につけたい生徒	一般	C	C	I

(注3) 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種 別	特 徴		
	国 語	数 学	英 語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、図表に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题する。また、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	【筆記】基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 【リスニング】自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	【筆記】基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 【リスニング】自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	【筆記】標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に要約する力を問う問題を中心に出题する。 【リスニング】自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を総合的に活用する力を問う問題を中心に出题する。

* 英語の学力検査は、「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和4年6月改訂）」から出題します。

* A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20%とします。

* C問題のリスニングテストでは、A、B問題と異なる問題を使用し、配点は約33%とします。

（左：アドミッションポリシーの一部、右：一般選抜における問題の種類及び特徴）

進路に係る質問の回答の続き

Q5:スポーツ学科への進学の方法が知りたいです。学校見学でも質問します。



→私立と公立で違いがあります。私立の場合は、セレクションやスポーツ推薦で入る入学するケースが多いようです。もちろん、学校によりますので、気になる学校でご質問されるのが一番かと思います。次に公立ですが、体育に関する学科のある高校は、府内で4校あります。これらの学科は、特別選抜で5教科に加えて実技も試験があります。いずれにせよ、各学校で開催される練習会には積極的に参加しましょう。チームの雰囲気を感じることもできますし、何よりも本人のやる気が相手に伝わる機会ともなります。場合によっては、推薦入学の案内があることもあります。その際は担任か進路担当にご相談ください。

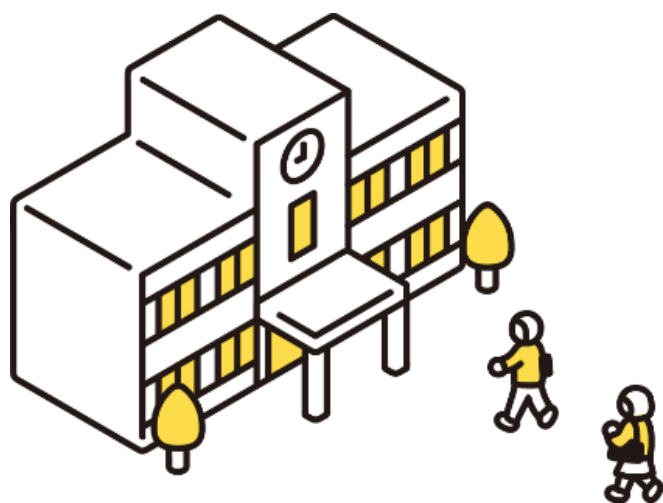
Q6:志望校が決定したら試験の出題傾向や本人の苦手分野をアドバイスしていただきたいです。

→試験の出題傾向は市販されている赤本を参考にされると良いかと思います。本人の苦手分野がわかれば、教科の先生からアドバイスができると思いますので、声掛けしてみましよう。学校は全力でサポートします。



Q7:特別選抜について詳しく知りたいです。〇〇部がある併願で受ける私立高校についての相談もしたいです。

→特別選抜は5教科に加えて、実技などの特別な内容を要する試験です。詳しくは、進路のしおりにも書いておきましたのでご覧ください。特定のクラブがある私立高校を考えるにあたっては、こういった視点を持たれるかでも、いろいろな考え方があるかと思います。実績を第一にするか、施設を大事にするか、練習内容を大事にするかなど、本人が一番大事にしたい条件を絞って、学校見学や練習会などに参加されてみてはいかがでしょうか。



☆公立高校のアドミッションポリシーも公開され、また、各高校の学校説明会の案内も多くなってきました。この夏休みは進路に向けて、できるだけ多くの進路先の情報を収集して、本格的な進路決定に備えましょう。



公立高校フェア



私学展